

病院と在宅医療の 連携・退院支援研修

【日時】 1月19日（日） 14:30 ～ 18:00

【場所】 聖マリア学院大学 5号館 2階 【定員】 80名（事前申込）

在宅医療を開始する患者の多くは病院退院時に導入されるものであり、在宅医療導入には病院スタッフが大きな役割を担っています。

国立長寿医療研究センター在宅連携医療部では、在宅医療スタッフと病院スタッフが一堂に会し、相互理解を深めることで、よりよい連携が実現すると考え、研修プログラムを作成されました。今までに全国で研修会が開催され、病院からの円滑な退院・在宅医療の導入を促進すると評価されています。

この度、公益財団法人 在宅医療助成 勇美記念財団の助成を受け「病院と在宅医療の連携・退院支援研修」が開催できることになりました。

研修プログラム

第1部 講演1

演題：“地域で暮らす”そして、“最期まで生きる”に伴走する～病院完結の時代から、地域包括ケアの時代へ～

講師：在宅ケア移行支援研究所 宇都宮 宏子 先生

東京都在宅療養推進会議の退院支援検討部会の部会長として、2013年に『東京都退院支援マニュアル』作成など、病院看護・訪問看護の経験を踏まえ、退院支援・退院調整活動の普及にその黎明期から関わってこられた豊富な経験をもとにご講演いただきます。

第2部 講演2

演題：重度疾患症例を地域で“診きる”病診連携のあり方について

講師：きずなクリニック 院長 池田 真介 先生

久留米市津福本町を拠点に200件以上の在宅看取りの実績があり、365日24時間対応可能な訪問診療を展開されています。地域の在宅診療の現状についてご講演いただきます。

第3部 模擬退院時カンファレンス（Group Work）

模擬症例：がん末期患者、心不全末期患者、認知症患者の自宅退院症例

研修対象

在宅医療に従事する医師、看護師、ケアマネージャー

病院にて退院支援に従事する医師、看護師（病棟・連携担当）、ソーシャルワーカー

この研修は、公益財団法人 在宅医療助成 勇美記念財団の助成事業です。

主催 ふくおか在宅ホスピスをすすめる会 ・ 社会医療法人 雪の聖母会 聖マリア病院

共催 公益財団法人 在宅医療助成 公益財団法人 勇美記念財団 ・ 国立長寿医療研究センター

参加申込書

社会医療法人 雪の聖母会 聖マリア病院 「病院と在宅医療の連携・退院支援研修」事務局

申込書送付先 **FAX : 0942-35-3351** (送付状不要)

お問合せ先 TEL : 0942-35-3322

申込締切：令和元年12月25日までに、FAXにてお申込みください。

※ 尚、募集定員に達し次第申込受付を終了させていただきます。

医院・事業所名		連絡先	
参加者			
ふりがな	性別	年齢	
氏名	<input type="checkbox"/> 男性 <input type="checkbox"/> 女性	歳	
	職種	臨床経験年数	
		年間	
GroupWork 模擬症例希望 () の中に希望数字をご記載下さい			
① がん末期患者の自宅退院症例 ② 心不全末期患者の自宅退院症例 ③ 認知症患者の自宅退院症例			
・ 第1希望 () ・ 第2希望 ()			

会場

聖マリア学院大学 5号館 2階
〒830-8558
福岡県久留米市津福本町422番地

※ お車で越しの際は、第1・2駐車場に駐車をお願いします。

また、駐車券を忘れずに会場にお持ちください。

交通アクセス

- JR久留米駅よりタクシーで10分
- 西鉄久留米駅よりタクシーで6分
- 西鉄試験場前駅より徒歩5分
- 西鉄バス50番系統で聖マリア病院前下車

